

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名	RS-200-CK Cement (Grip Cement Liquid)
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
REACH 登録番号	割り当てられていない。

1.2 当該物質または混合物の記載されている重要用途および指導対象の用途

記載されている用途	接着剤。
~ に対して助言された用途	知られていない。

1.3 安全性データシート供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire イギリス RG24 8FW
電話	+44 (0) 1256 462131
F a x	+44 (0) 1256 471441
E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

1.4 緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887
CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

2.1.1 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

引火性液体 区分 2 ; H225
皮膚腐食性 区分 2 ; H315
皮膚感作性 区分 1 ; H317
特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3 ; H335

2.2 表示要素

製品名 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば

製品名 RS-200-CK Cement (Grip Cement Liquid)

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

改訂: 1.1 日付: 28.08.2015

www.vpgsensors.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

次を含有する:	Methyl methacrylate
危険有害性情報	H225: 引火性の高い液体および蒸気。 H315: 膚刺激性。 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。
危険有害性情報	P210: 熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。 P261: 蒸気の吸入を避ける。 P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。 P302+P352: 皮膚に触れた場合: 水でよく手を洗うこと。 P333+P313: 皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P312: 体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。
追加情報	なし。
2.3 他の危険有害性	加熱したり触媒が存在する場合、高熱をとまなう重合を起こしやすい。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 該当なし。.

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性情報
Methyl methacrylate	99	80-62-6	201-297-1	割り当てられていない。	引火性液体 区分 2; H225 皮膚腐食性 区分 2; H315 皮膚感作性 区分 1; H317 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335
N,N-Dimethyl-p-toluidine	1	99-97-8	202-805-4	割り当てられていない。	急性毒性 区分 3; H301 急性毒性 区分 3; H311 急性毒性 区分 3; H331 特定臓器毒性(反復暴露) 区分 2; H373 水生環境有害性 慢性区分 3; H412

H225: 引火性の高い液体および蒸気。 H301: 飲み込むと有毒。 H311: 皮膚に接触すると有毒。 H315: 膚刺激性。 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H331: 吸入すると有毒。 H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。 H373: 長期間にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ

れ。H412：長期継続的影響により水生生物に有害。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸い込んだ場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

皮膚（又は髪）に付着した場合：汚染された衣服を除去して、接触した部分をすべて大量の水で洗う。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識の無い場合は口から何も与えてはならない。症状が現れたら、医師の治療を受ける。

4.2 最も重要な症状および作用（急性および遅発性）

膚刺激性。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。呼吸刺激を起こすおそれ。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

症状によって処置する。

5. セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。二酸化炭素、粉末消火剤、また泡消火剤を使用すること

不適切な消火剤

水を使用しない。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

引火性の高い液体および蒸気。蒸気は空気より重く、遠くにある発火源および逆火にまで達する可能性があります。熱に曝露されると、重合する可能性があります。密閉容器は熱せられると、爆発的に破損することがある。火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。炭素酸化物。

5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 適切な換気を確保する。安全に対処できるならば漏洩をとめる。安全に対処できるならば全ての着火源を取り除く。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8.
- 6.2 環境的予防措置 環境に排出しないようにする。液体が下水道、地下室及びワークピットに入らないようにする; 蒸気は爆発性雰囲気を作り出すことがある。
- 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材 流出物を取り除く間、(呼吸装置を含む)適切な保護具を着用する。引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。
小規模の流出: 流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。
大規模の流出: 流出物を閉じこめる。13章に従って機械的に回収し廃棄すること。
区域を換気し、物質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。
- 6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項 適切な換気を確保する。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。静電気放電に対する予防措置を講ずる。光が当たらないよう保護する。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) 容器および受器を接地し固定する。容器は密封し、換気の良い冷所に保存すること。他の容器に移し替えてはならない。熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。光が当たらないよう保護する。
保管温度 次の値を超えない温度(°C)で保管する: 30
保管期間 普通の状態安定。
混触危険物質 次のものから離して保管する。酸類、, 強塩基、強酸化物類、, 還元剤、アミンと紫外線。
- 7.3 具体的最終用途 接着剤。

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理指標
- 8.1.1 職業暴露限度 確立されていない。
- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。

8.1.3	PNEC および DNEL	確立されていない。
8.2 暴露管理		
8.2.1 適切な工学的管理		
適切な換気を確保する。または適切な封じ込めを行うこと。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。無火花換気装置、承認済み防爆装置、および安全に設計された電気システムを使用すること。作業場所の近くに洗眼設備と安全シャワーを確保すること。		
8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置		
化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。		
目/顔面の保護		
		
液体のはねから目を完全に保護するためにゴーグルを装着します (EN166)。		
皮膚の保護		
		
手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。		
体の保護: 長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。		
呼吸器の保護		
		
換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。開放系: 適切な呼吸用保護具を着用する。		
熱の危険性		
該当なし。		
8.2.3 環境暴露コントロール		
環境に排出しないようにする。		

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	無色の液体。
におい	強い刺激性の、アクリル酸の臭い
臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	- 48°C
初留点と沸騰範囲	100.36°C (Methylmethacrylate (CAS# 80-62-6))
引火点	9°C [クロ-ズド カップ]
蒸発速度	>1 (BuAc = 1)

改訂: 1.1 日付: 28.08.2015

www.vpgsensors.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &
2015/830 によれば

燃焼性 (固体、ガス)	該当なし。 - 液体。
上限/下限可燃性または爆発限界	爆発限界下限値(%v/v): 2.1 爆発限界上限値(%v/v): 12.5
蒸気圧	29 mm Hg
蒸気密度	3.5 (航蟻 ir = 1)
相対密度	0.94 (H ₂ O = 1)
溶解度	15.3 g/L (水 @ 20°C) (Methylmethacrylate (CAS# 80-62-6))
分配係数: n-オクタノール/水	1.24 オクタノール / 水分配係数 (Methylmethacrylate (CAS# 80-62-6))
自然発火温度	320 °C (混合物。)
分解温度	資料なし。
粘度	0.6 mPa s (20°C)
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	引火性の高い液体および蒸気。蒸気は目に見えず、空気より重く、場合によっては地面に沿って拡散する。加熱したり触媒が存在する場合、高熱をとまう重合を起こしやすい。
10.4 避けるべき条件	高温、着火源および直射日光を避けること。
10.5 混触危険物質	次のものから離して保管する。酸類、強塩基、強酸化物類、還元剤、アミンと紫外線。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素と強く鼻を刺す煙。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)

急性毒性

摂取

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20 mg/l。

皮膚接触

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性 区分 2: 膚刺激性。

改訂: 1.1 日付: 28.08.2015

www.vpgsensors.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

<p>眼に対する重篤な損傷/眼刺激性</p> <p>呼吸器感作性又は皮膚感作性</p> <p>生殖細胞変異原性</p> <p>発がん性</p> <p>生殖毒性</p> <p>特定標的臓器への毒性 (単回暴露)</p> <p>特定標的臓器への毒性 (反復暴露)</p> <p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>皮膚感作性 区分 1: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3: 呼吸刺激を起こすおそれ。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>	
11.2	その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。LC50 > 100 mg/l (魚類)
12.2	残留性および分解性	この製品は水中で容易に生分解される。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性がない。
12.4	土壌中の移動度	この製品は土壌中で移動性が高いと予想される。水 溶解。 / 高揮発性。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	非希釈、非中和の状態下水に排出しないこと。本物質の容器が空の場合、製品の残留物が残っていると有害であることがあります。この物質や容器は有害廃棄物として処理する。
13.2	追加情報	廃棄処分は関連法(地方政府、県、国家)に従わなければならない。

14. セクション 14: 輸送上の注意

14.1	国連番号	ADR/RID / IMDG / IATA UN 1247
14.2	UN 適切な船積み名	METHYL METHACRYLATE MONOMER, STABILIZED
14.3	輸送危険分類	3
14.4	輸送危険分類	II
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。/環境的に有害な物質
14.6	使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。 .

改訂: 1.1 日付: 28.08.2015

www.vpgsensors.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

15. セクション 15: 適用法令

- 15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律
- 15.1.1 EU規制
Substances of Very High Concern (SVHCs) なし。
使用の承認および/または制限 なし。
- 15.1.2 国の規制
Wassergefahrdungsklasse(ドイツ) 水質危険クラス: 1
- 15.2 化学物質安全性評価 資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS). 調和した分類 Methylmethacrylate (CAS# 80-62-6) と N,N-Dimethyl-p-toluidine (CAS# 99-97-8). 既存の ECHA 登録 調和した分類 Methylmethacrylate (CAS# 80-62-6) と N,N-Dimethyl-p-toluidine (CAS# 99-97-8).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
引火性液体 区分 2; H225	引火点 [クロ-ズド カップ] テスト結果/ 推定 沸点(°C)
皮膚腐食性 区分 2; H315	閾値計算
皮膚感作性 区分 1; H317	閾値計算
特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335	閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	高難分解性、高生物蓄積性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切な措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group

は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。